

令和6年度 神戸市人と猫との共生推進協議会

第1回定例会議

1. 日 時：令和6年5月16日（木）14：00～

2. 場 所：中央区文化センター1002 会議室

3. 出席者：別紙 名簿参照

4. 議 事

【感謝状贈呈】

ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア 様

【協議事項】

(1) 令和5年度事業報告・・・P2

(参考資料)

① 令和5年度 野良猫繁殖制限事業実施結果・・・P3～4

② 過去7年間の繁殖制限事業関係見える化マップ及び検証結果・・・P5～9

(2) 令和5年度決算報告・・・P10

監査報告書・・・P11

(3) 令和6年度事業計画案・・・P12

(4) 令和6年度予算案・・・P13

【報告事項】

(1) 神戸市より（条例の取組み等）

(2) 各出席者より

令和5年度 事業報告

1. 地域猫活動と連携した野良猫の繁殖制限

(1) 野良猫の繁殖制限事業

- ・野良猫により生活環境等に問題が生じている地域について、神戸市獣医師会、神戸猫ネットによる事業部会を月1回開催し、野良猫の不妊手術を計画的・集中的に実施し、効果的な繁殖抑制に取り組んだ。 1,875匹の不妊手術を実施

(2) 協議会が行う野良猫の繁殖制限事業にかかる協力者の募集・登録

- ① 協力動物病院 神戸市獣医師会所属40動物病院、その他5動物病院 計45動物病院
- ② TNR実施協力者 6団体143名、個人2名 計145名
- ③ デザイン関係の協力者 1団体2名

2. 人と猫との共生推進事業に関する各種啓発

- (1) 神戸市人と猫との共生に関するガイドラインの周知
- (2) 野良猫の繁殖制限事業に伴う不適正な給餌者に対する指導助言
- (3) 自治会等地域団体との懇談会等とおした地域猫活動の普及、啓発
 - ・4月19日北区有馬町、1月14日垂水区神和台
- (4) TNR実務者、地域猫活動団体向け研修会の開催
 - ・10月8日 動物をめぐる問題と法律について
- (5) 各種啓発イベントの主催、後援による啓発

3. 猫の譲渡の推進

- (1) 協議会主催、後援の譲渡会の開催
 - ・6月10日、11日 IKEA神戸でネコのバス譲渡会開催
 - ・10月1日 こうべ動物共生センターで開催
 - ・2月23日、24日 神戸マルイ三宮センター街でネコのバス譲渡会開催
- (2) 市域で保護された猫の譲渡会情報の収集、発信
 - ・15団体の譲渡会、保護猫カフェ4か所の情報提供。

4. その他

- (1) 定例会議（年3回）、事業部会（月1回）の開催
- (2) ホームページの作成および事業実施状況等の公表
- (3) 寄付金、募金集め
- (4) 神戸市への事業内容等の報告

令和5年度 野良猫繁殖制限事業実施状況

令和6年3月末現在

1. 野良猫繁殖制限の申請等の件数

①地域猫活動等の支援申込

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
申請件数	20	2	10	13	26	28	10	30	20	159件
手術対象数	88	5	39	28	105	80	52	102	107	606匹

②野良猫の多い地域に関する情報提供

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
申請件数	6	1	1	1	9	12	2	9	5	46件

※支援申込と重複する情報提供地域数 15件（以前の申請を含む）

③継続支援（管理票の追加発行等）の要望地域数

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
要望件数	15	9	23	28	33	49	21	46	41	265件

※以前に新規支援した地域を含む

2. 野良猫繁殖制限の支援地域数

①新規支援地域数（新たに管理票を発行した地域）

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
今年度申請分	25	3	9	13	27	34	11	35	24	181件
過年度申請分	2	0	1	1	5	4	2	1	1	17件
計	27	3	10	14	32	38	13	36	25	198件

※重複する申請地域数 83件

②継続支援地域数（管理票を追加発行等した地域）

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
今年度申請分	7	2	4	6	6	6	2	9	12	54件
過年度申請分	8	8	18	22	27	41	19	38	30	211件
計	15	10	22	28	33	47	21	47	42	265件

3. 野良猫繁殖制限事業による手術数

①区別の実施地域数・手術数

区		東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
実施地域数		28	10	26	34	49	57	27	59	52	342件
手術数	新規支援地域	80	11	40	22	72	37	21	62	151	496匹
	継続支援地域	87	22	89	109	118	249	86	439	180	1,379匹
	計	167	33	129	131	190	286	107	501	331	1,875匹

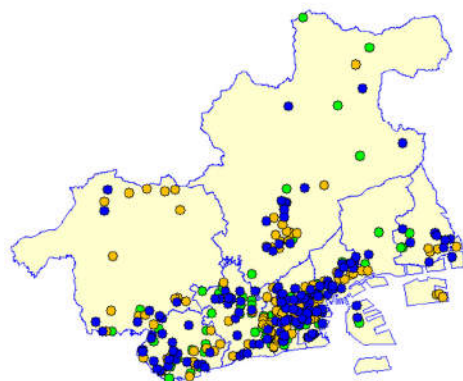
②月別・雌雄別の手術数

月	雄	雌	計
4月	73	66	139
5月	62	43	105
6月	79	91	170
7月	65	72	137
8月	71	75	146
9月	137	147	284
10月	86	107	193
11月	102	93	195
12月	60	66	126
1月	67	65	132
2月	62	71	133
3月	60	55	115
計	924匹	951匹	1,875匹

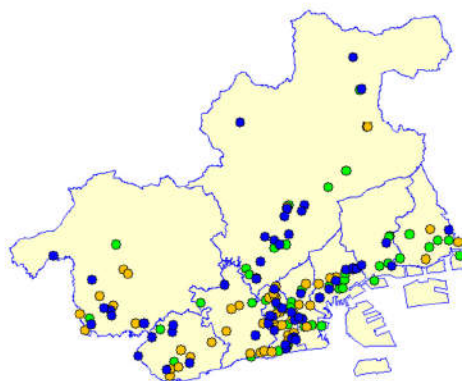
申請状況マップ（新規に申請のあった年度毎）

● 支援申込（うち●、地域猫団体），● 情報提供

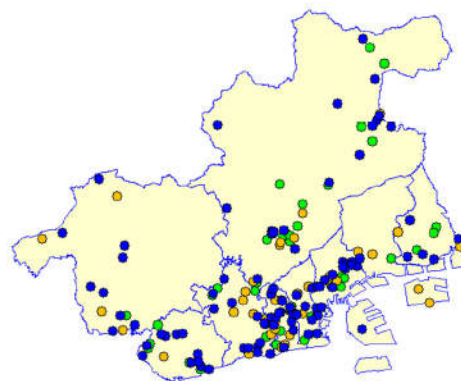
平成 29 年度（単年度）



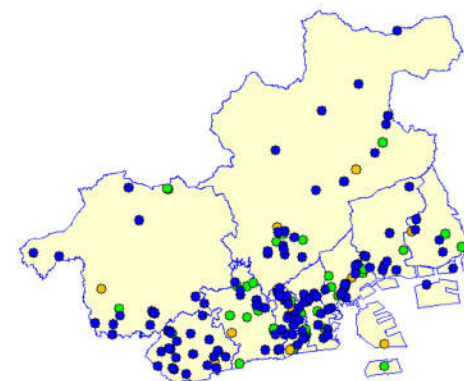
平成 30 年度（単年度）



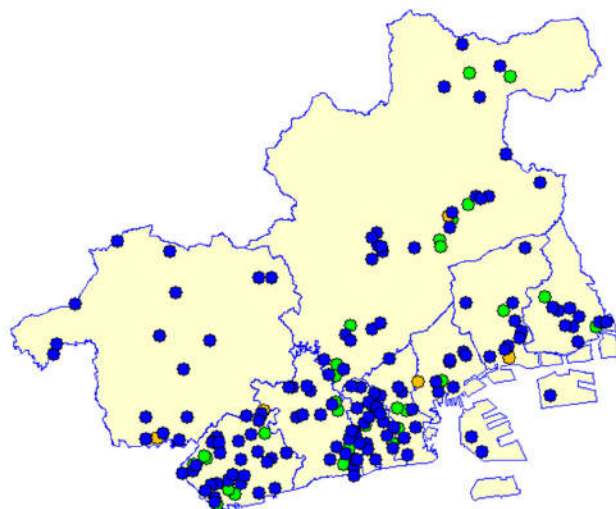
令和元年度（単年度）



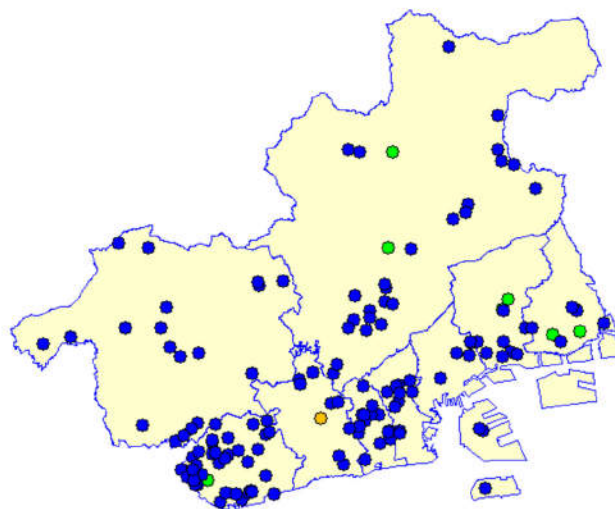
令和 2 年度（単年度）



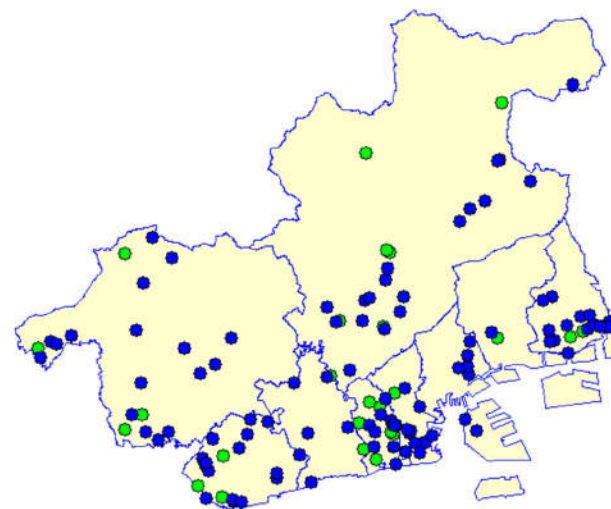
令和 3 年度（単年度）



令和 4 年度（単年度）



令和 5 年度（単年度）

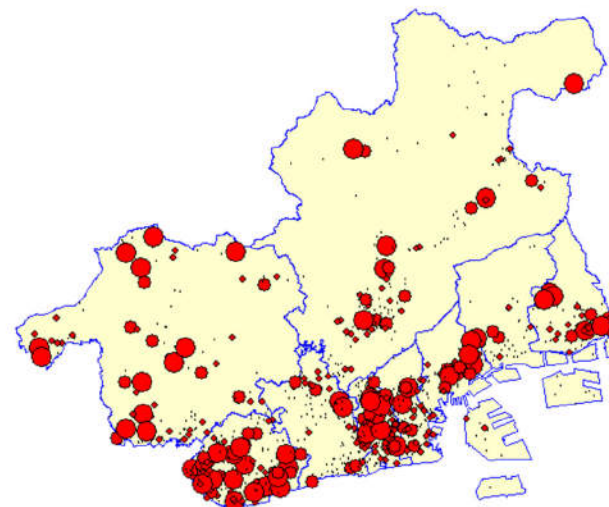


● 5 匹未満 ● 10 匹未満 ● 50 匹未満 ● 50 匹以上

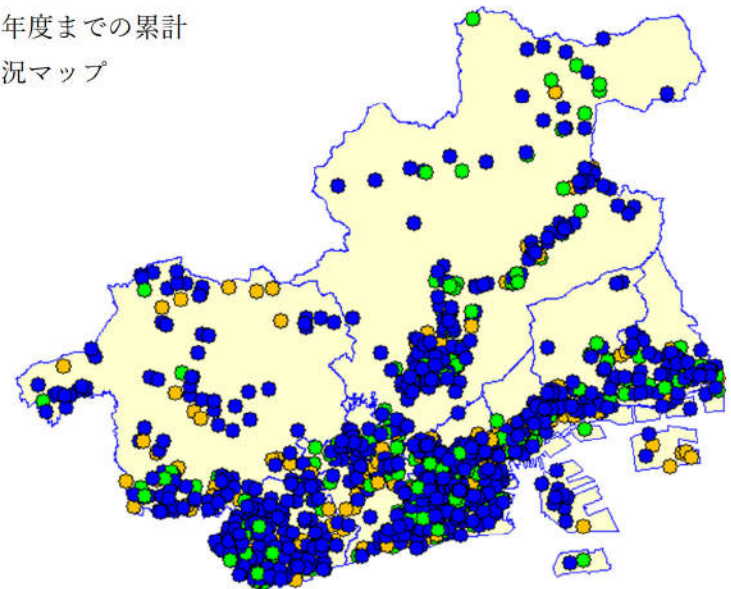
令和2年度実績 (2,186 匹)



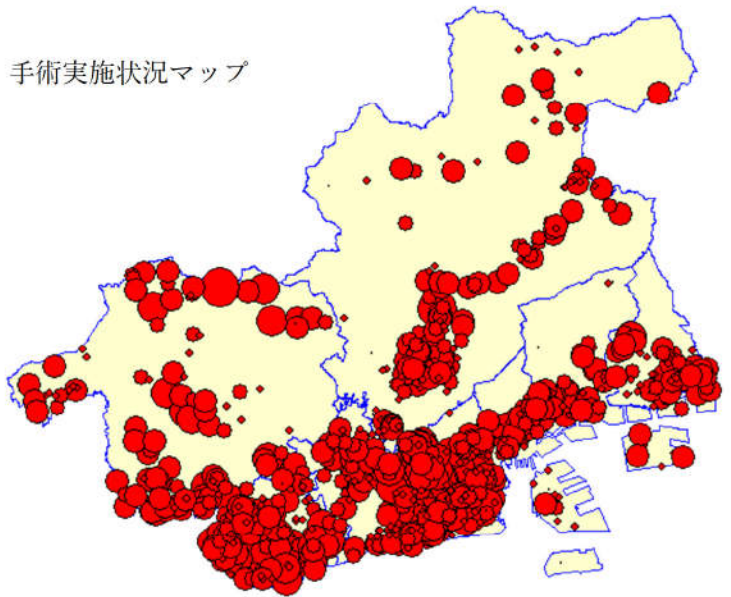
令和5年度実績 (1,875 匹)



令和5年度までの累計
申請状況マップ

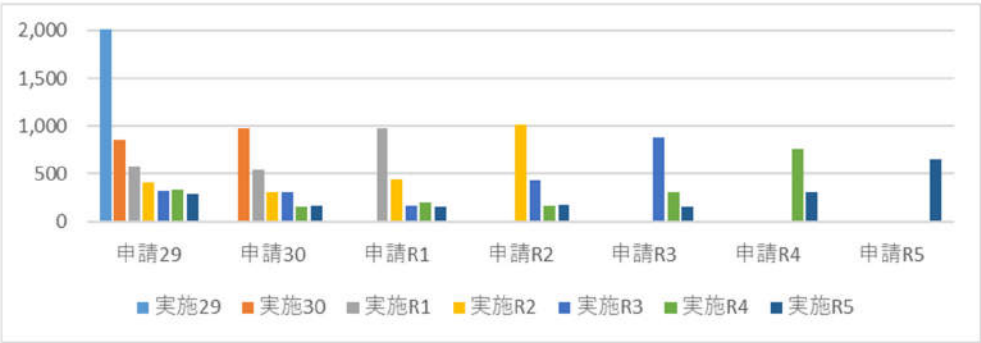


手術実施状況マップ



受付年度	支援申込		情報提供	計
		うち地域猫		
平成29年度	249	100	173	422
平成30年度	116	53	98	214
令和元年度	141	43	114	255
令和2年度	144	13	60	204
令和3年度	182	5	68	250
令和4年度	176	3	45	221
令和5年度	159	2	46	205
計	1,167	219	604	1,771

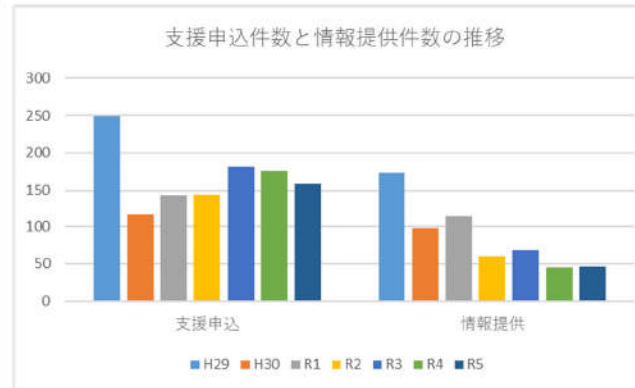
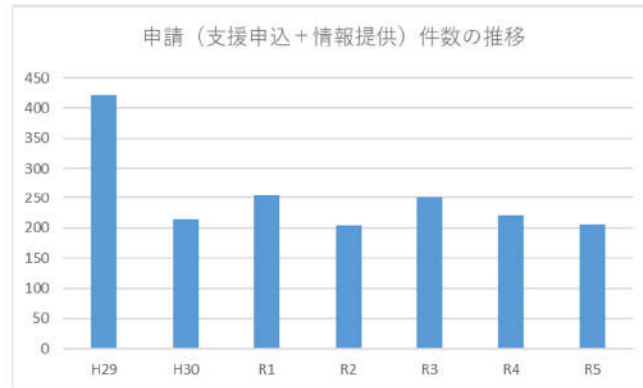
総手術数		申請年度							計
		申請29	申請30	申請R1	申請R2	申請R3	申請R4	申請R5	
手術 実施年度	実施29	2,051	0	0	0	0	0	0	2,051
	実施30	862	982	0	0	0	0	0	1,844
	実施R1	573	539	981	0	0	0	0	2,093
	実施R2	412	314	441	1,019	0	0	0	2,186
	実施R3	318	309	169	435	886	0	0	2,117
	実施R4	334	158	203	161	311	762	0	1,929
	実施R5	285	160	147	171	154	309	649	1,875
	計	4,835	2,462	1,941	1,786	1,351	1,071	649	14,095



手術数	地域数
1匹未満	61
5匹未満	320
10匹未満	224
50匹未満	409
100匹未満	39
150匹未満	6
150匹以上	0
合計	1,059

過去 7 年間の検証結果

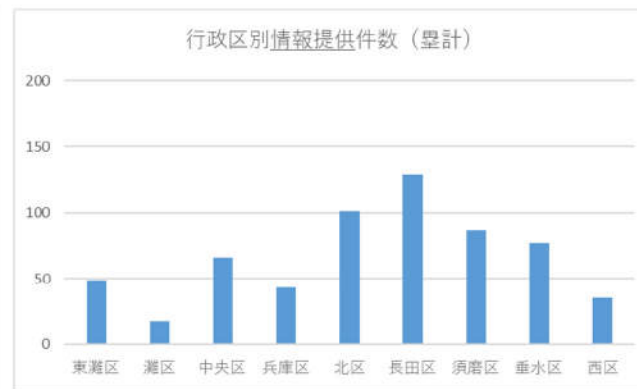
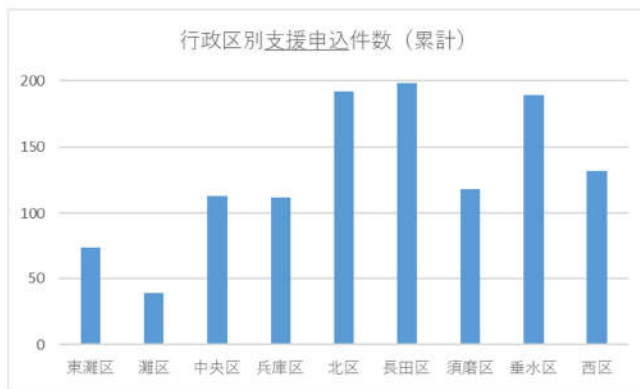
1 新規申請件数



支援申込と情報提供を合わせた全申請件数は、初年度を除き 200～250 件前後で推移している。

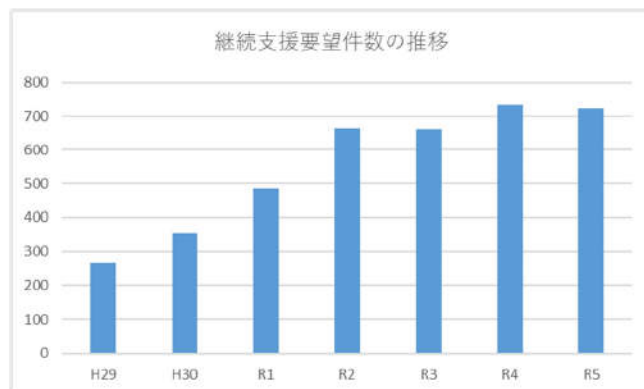
地域猫活動など、TNR 実施者からの支援申込は、若干の減少が見られるものの、未だに年間 150 件を超えており、需要はまだまだ多い。

一方、野良猫で困っている地域からの情報提供は、長期的に減少傾向にある。

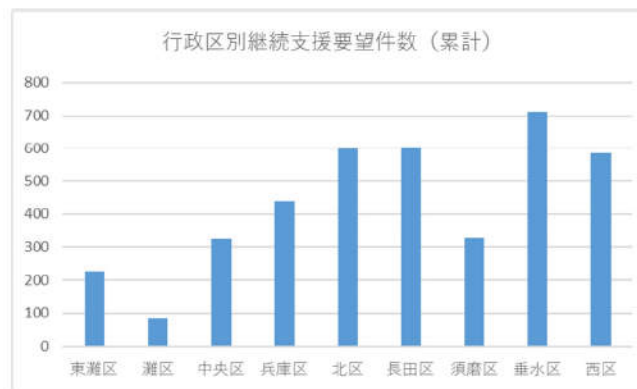


行政区別にみると、長田区、北区、垂水区からの申請（支援申込＋情報提供）が多く、東灘区や灘区からの申請は少ないといった傾向がみられる。

2 継続支援要望件数



※ 同一地域で複数の継続支援要望があった場合、それぞれを要望件数としてカウントしている。

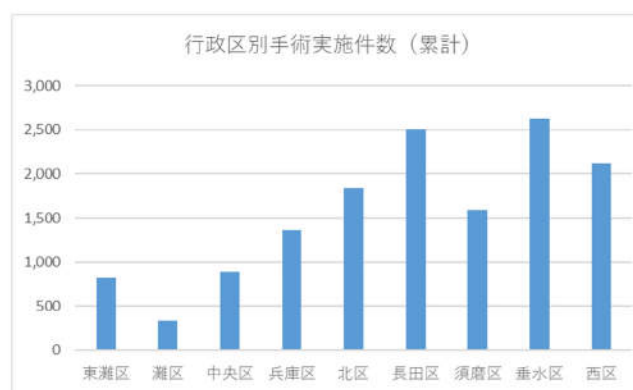
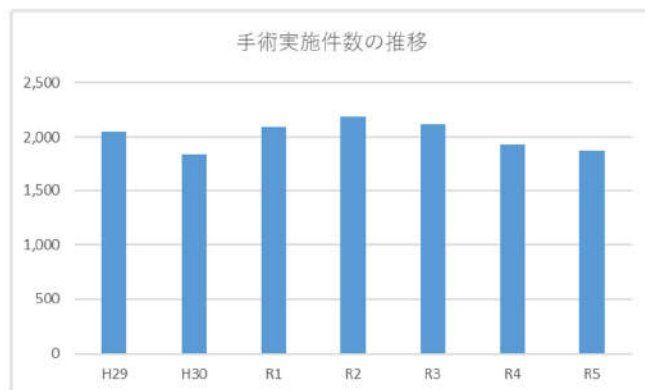


継続支援要望件数は、新規支援地域の増加に伴って増加する。

ここ4年間の増加傾向はやや緩くなっているものの、700件を超えており、繁殖制限事業の継続が必要な地域がまだ多くあることがうかがえる。

行政区別では、支援申込件数と傾向は類似しているが、垂水区、西区がやや多くなっているのが特徴的である。

3 手術実施件数



申請件数等の動きにあわせて、手術実施件数にも、若干の減少傾向がみられるものの、リバウンドしないよう、今後とも慎重に推移をみていく必要がある。

行政区別にみると、申請件数や継続支援要望件数と比例関係にある様子が見える。

令和 5 年度 収支決算書

収入の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日（単位：円）

科目	予算額	決算額	摘要
1. 補助金	16,310,000	17,654,225	神戸市から「神戸市人と猫との共生推進協議会事業費」として
2. 繰越金	2,328,846	2,328,846	
3. 募金、寄付	3,261,154	4,244,682	
4. 利息		75	
合計	21,900,000	24,227,828	

支出の部

令和5年4月1日～令和6年3月31日（単位：円）

科目	予算額	決算額	摘要
1. 野良猫繁殖制限事業費	20,630,000	21,412,404	不妊去勢手術費用（1,875匹） 現地作業等の実費弁償、捕獲機購入 印刷経費（事前周知チラシ、猫管理票等）
2. 野良猫の給餌等に関する指導助言費	240,000	192,400	現地指導の実費弁償等
3. 猫の譲渡の推進事業費	234,000	209,446	HP作成・運営費、譲渡会費用
4. 定例会議費	66,000	37,600	交通費実費弁償、会場費
5. 事務費	500,000	605,145	事務所賃貸料、電気使用料、郵送料、コピーリース料・印刷費用等
6. 保険料	130,000	136,500	情報漏えい賠償保険、管理者損害賠償保険、ボランティア保険
7. 予備費	100,000	0	
合計	21,900,000	22,593,495	

※繰越金 24,227,828 円－22,593,495 円＝1,634,333 円

上記のほか、事務局費として、補助金 9,000,000 円を計上。支出は、事務所費 1,004,174 円、通信費 213,721 円、職員給与等 5,363,278、旅費交通費 516,060、社会保険料等 1,058,542 円
計 8,155,775 円 余剰金 844,225 円は事業費に繰り入れ

監 査 報 告

令和 6 年 4 月 26 日

神戸市人と猫との共生推進協議会
会長 中島克元 様

監事 公益社団法人 Knots

理事長

高永佳子

監事 神戸市商店街連合会

専務理事兼事務局長

村上安弘

事務局から提出された令和 5 年度の事業報告及び一般会計の歳入・歳出決算を下記により監査したところ、帳票、諸帳簿の記入並びに書類作成などすべて正確だったことを確認しましたので報告します。

記

1. 監 査 年 月 日 令和 6 年 4 月 26 日
2. 監査実施場所 神戸市人と猫との共生推進協議会事務局
3. 監 査 書 類 令和 5 年度事業報告書、現金出納簿、収入支出命令簿
預金通帳

以上

令和6年度 事業計画案

1. 地域猫活動と連携した野良猫の繁殖制限

野良猫により生活環境等に問題が生じている地域において不妊手術を計画的・集中的に実施していくことにより、効果的な繁殖抑制に取り組んでいく。

- (1) 野良猫に関する情報をもとに事業部会において、繁殖制限対策区域の設定、計画の策定し、野良猫の不妊手術の実施（約1,800匹予定）
- (2) 過去7年間のTNRを踏まえた検証
- (3) 協力者（協力獣医師、TNR実施協力者）の募集・登録

2. 人と猫との共生推進事業に関する各種啓発

- (1) 神戸市人と猫との共生に関するガイドラインの周知
- (2) 野良猫の繁殖制限事業に伴う不適正な給餌者に対する指導助言
- (3) 自治会等地域団体との懇談会等をととした地域猫活動の普及、啓発
- (4) TNR実務者、地域猫活動団体向け研修会の開催
- (5) 各種啓発イベントの主催、後援による啓発

3. 猫の譲渡の推進

- (1) 協議会主催、後援の譲渡会の開催
 - ・6月8日、9日 IKEA神戸でネコのバス譲渡会開催
 - ・10月6日 こうべ動物共生センターで開催
 - ・2月 神戸マルイ三宮センター街でネコのバス譲渡会開催
- (2) 市域で保護された猫の譲渡会情報の収集、発信

4. その他

- (1) 定例会議（年3回）、事業部会（月1回）の開催
- (2) ホームページの作成および事業実施状況等の公表
- (3) 寄付金、募金集め
- (4) 神戸市への事業内容等の報告

令和 6 年度 予算案

協議事項 4

収入の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日（単位：円）

科目	予算額	令和5年度 当初予算額	摘要
1. 補助金	16,310,000	16,310,000	神戸市から「神戸市人と猫との共生推進協議会事業費」として
2. 繰越金	1,634,333	2,328,846	
3. 募金、寄付	3,200,667	3,261,154	
合計	21,145,000	21,900,000	

支出の部

令和6年4月1日～令和7年3月31日（単位：円）

科目	予算額	令和5年度 当初予算額	摘要
1. 野良猫繁殖制限事業費	19,715,000	20,630,000	不妊手術費用約1,800匹 現地作業等の実費弁償(30か所*3名*5日) 印刷経費(事前周知チラシ、猫管理票等)
2. 野良猫の給餌等に関する指導助言費	220,000	240,000	現地指導の実費弁償等 30か所*2名
3. 猫の譲渡の推進事業費	220,000	234,000	譲渡会の開催、情報収集及び情報発信 (HP作成・運営費等)
4. 定例会議費	60,000	66,000	交通費実費弁償1回平均15,000円*3回 会場費 @5,000円*3回
5. 事務費	700,000	500,000	事務所賃貸料、電気使用料、郵送料、コピーリース料・印刷費用、携帯電話買換等
6. 保険料	130,000	130,000	ボランティア保険 (500円*10名=5,000円) 情報漏えい賠償保険(120,000円) 管理者損害賠償保険(5,000円)
7. 予備費	100,000	100,000	
合計	21,145,000	21,900,000	

上記のほか、事務局費予算として、補助金 9,000,000 円を計上。支出は、事務所費 950,000 円、通信費 350,000 円、職員給与等 6,230,000、旅費交通費 430,000、社会保険料等 1,040,000 円
計 9,000,000 円

「神戸市人と猫との共生に関する条例」の取組み状況について

2024 年 5 月 神戸市健康局

1. はじめに

2017 年に施行された、「神戸市人と猫との共生に関する条例」に基づき設立された「神戸市人と猫との共生推進協議会」と神戸市が協働し、野良猫をこれ以上増やさない取り組み（繁殖制限事業等）や猫の譲渡などの事業を推進している。

2. 事業の進捗状況

(1) 殺処分の削減について

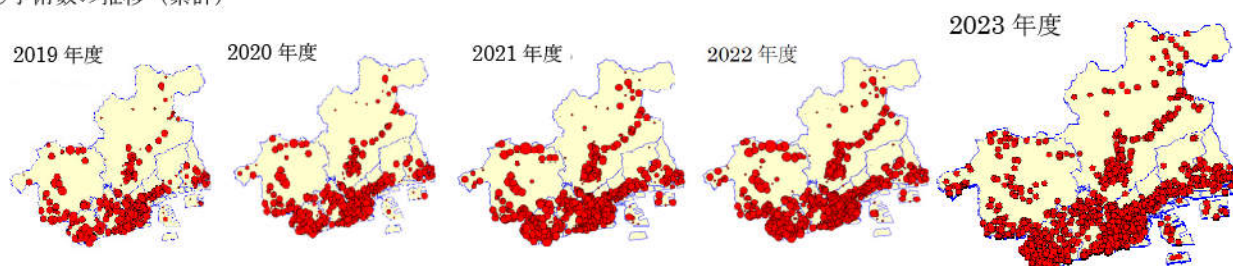
(ア) 野良猫の繁殖制限事業の状況

繁殖制限事業に関する要望については、協議会において野良猫の生息状況や苦情の状況など検討したうえで、繁殖制限が必要な区域を選定している。

2023 年度は 198 地域を新規の支援地域として選定、また、継続的な支援を 265 地域に行い、合計 1,875 匹の野良猫に不妊手術を実施した。

(参考：2017 年度手術数 2,051 匹、2018 年度手術数 1,844 匹、2019 年度手術数 2,093 匹、2020 年度手術数 2,186 匹、2021 年度手術数 2,117 匹、2022 年度手術数 1,929 匹)

○手術数の推移（累計）



(イ) 猫の譲渡の推進事業

市内で保護された猫の譲渡会情報について、協議会のホームページ、フェイスブック等による情報発信、また、協議会主催の譲渡会の実施している。

また、市においても神戸市獣医師会中心にご協力いただき、譲渡前仔猫のミルクボランティア、譲渡候補犬猫の健康管理を行い、譲渡を推進している。

○神戸市における猫の引取り数等の変遷

年度	引取・収容数	(仔猫再掲)	譲渡数	殺処分数	(仔猫再掲)	殺処分率
2013	1,264	(1,136)	29	1,230	(1,110)	97.3%
2014	668	(638)	53	615	(597)	92.1%
2015	768	(694)	91	673	(609)	87.6%
2016	579	(512)	161	406	(347)	70.1%
2017	609	(441)	237	351	(246)	57.6%
2018	509	(368)	298	225	(118)	44.2%
2019	350	(271)	237	103	(67)	29.4%
2020	253	(183)	181	95	(50)	37.5%
2021	171	(112)	101	62	(27)	36.3%
2022	178	(99)	113	51	(8)	28.7%
2023	182	(116)	140	42	(9)	23.1%

(ウ) 猫の殺処分ゼロに向けた目標

猫の殺処分数ゼロに向け、2030 年度までに猫の殺処分数を、国の定めた目標値の 2018 年度比 50%（神戸市の場合 227 頭⇒113 頭）のさらに約 50%減となる、50 頭以下を目指している。

なお、2022 年度の猫の殺処分数は 42 頭と、既に目標を達成しているが、いわゆる多頭飼育による成猫の引取り相談が複数寄せられている等、今後引取り数が大幅に増加する可能性があることから、当面はこの目標を維持できるよう、努めていきたい。

(2) 野良猫の適正管理

(ア) ガイドラインの周知

猫の適正管理について啓発、指導を進めるため、猫に関わる全ての人たちがそれぞれの立場ですべきことをまとめたガイドラインを協議会と市で関係各所や動物取扱業等に配布している。

○ガイドライン配布状況（2024 年 4 月時点）

配布先	協議会 構成団体等	繁殖制限 対策地域	地域団体	市関係部局 警察等	動物取扱業
配布数	約 1,000 冊・枚	約 300 冊	20,000 枚※	約 1,800 冊	1,550 冊

【冊子版(A4 34 ページ)約 4,250 冊、※概要版(A4)13,750 枚・野良猫版(A4)3,500 枚 合計約 21,500】

(イ) 「地域猫活動」の推進

不妊手術した後、地域に戻される野良猫の適正管理推進のため、地域住民の理解の下で適正に管理する「地域猫活動」団体を登録している。

○地域猫団体登録数

2016 年 ※条例施行前	2017 年	2018 年	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
105	99	121	140	127	104	91	74

3. 野良猫等に関する自治会アンケートの結果

条例施行 3 年目となる 2020 年 2 月、条例の効果を検証するため、自治会向けに野良猫等に関するアンケート調査を実施したが、さらに 3 年経過した 2023 年 10 月から 2024 年 2 月にかけても、同様の調査を実施した。

その結果、「地域にいる猫の数」「野良猫に関して自治会に寄せられる相談」「地域猫活動に関する認知度」「人と猫との共生に関する条例の認知度」の調査項目すべてにおいて、1 回目の調査時よりも数値が改善しており（別紙資料参照）、協議会の活動の効果が表れている。

4. ふるさと納税及びガバメントクラウドファンディングの結果

(1) ふるさと納税

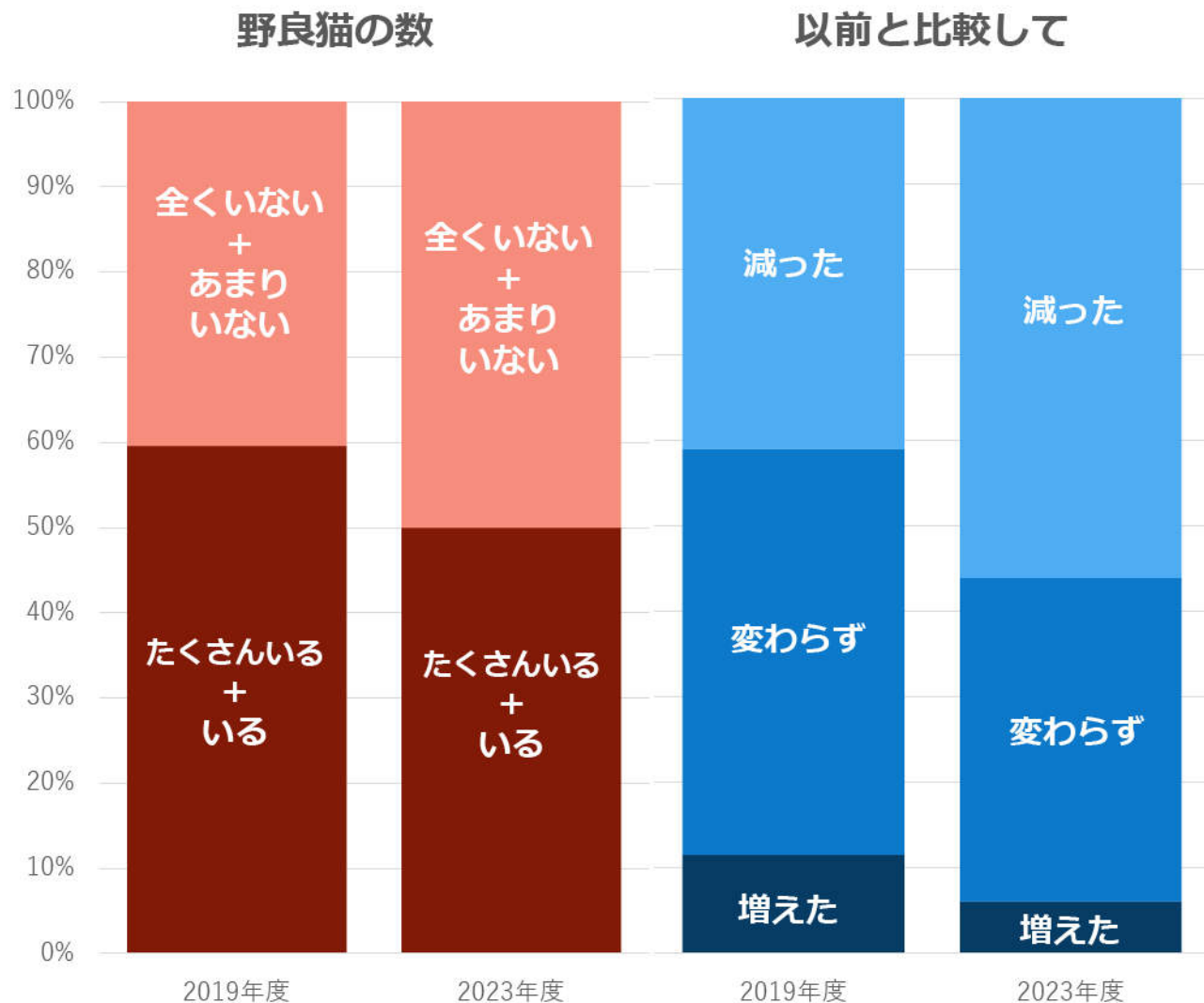
神戸市はふるさと納税の使い道メニューの一つとして、「犬猫と共に幸せに生きるまちにした い！」をテーマにふるさと納税の募集を行っており、2023 年度は同使い道メニューにのべ 2,756 名の方から計 1 億 595 万円（企業等からの寄附含む）のご寄附をいただいた（過去最高額）。

(2) ガバメントクラウドファンディング

2023 年 11 月 6 日から 2024 年 2 月 3 日の間、保護犬猫のしあわせをテーマに、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを昨年度に引き続き実施した。結果、目標額である 800 万円を大幅に超える、309 名の方から計 1,341 万円（目標比 168%）ものご支援をいただくことが出来た。



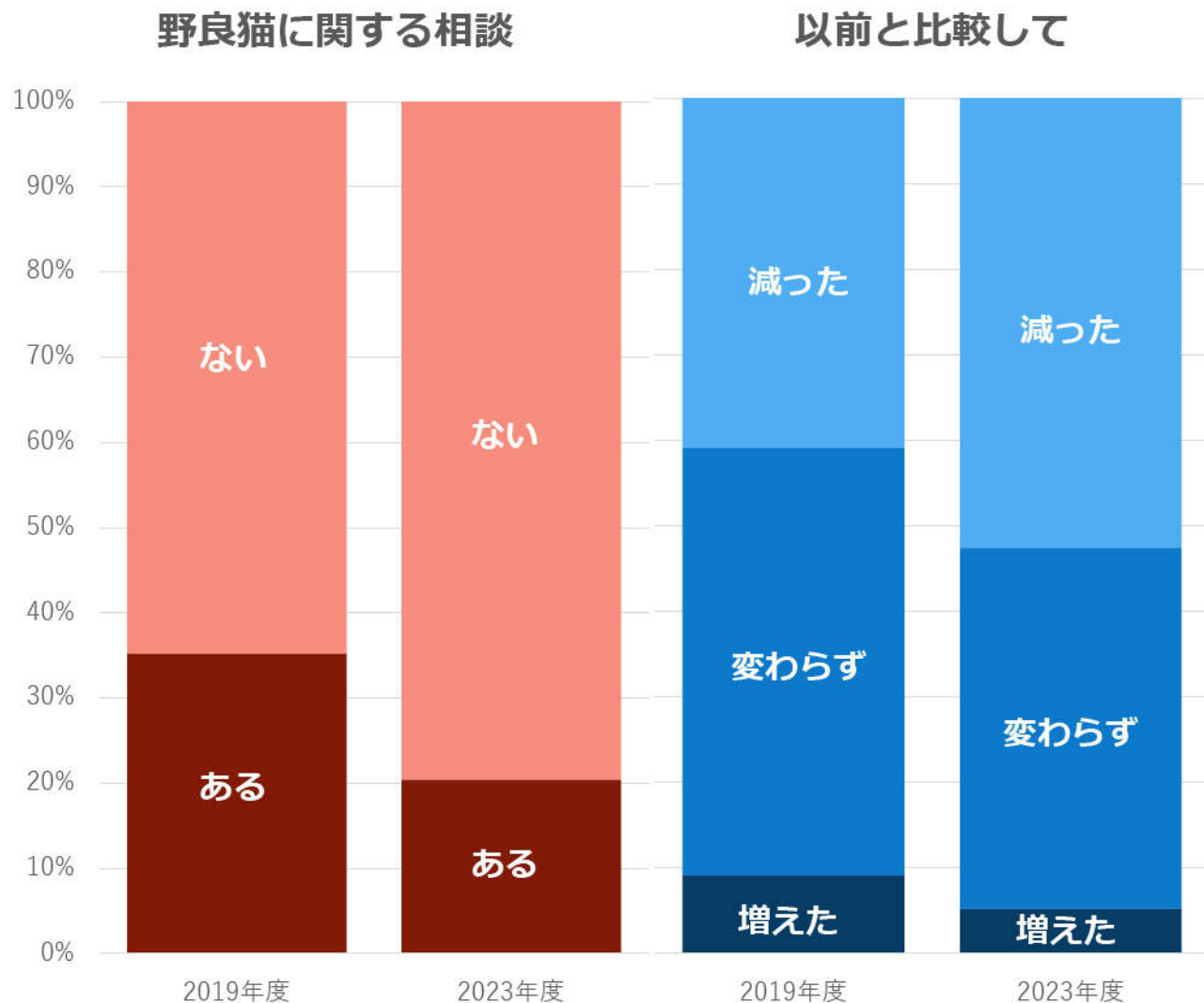
地域にいる野良猫の数



前回調査に比べて、地域にいる野良猫について、「たくさんいる」「いる」と答えた割合が減少するとともに、「全くいない」「あまりいない」の割合が増加している。

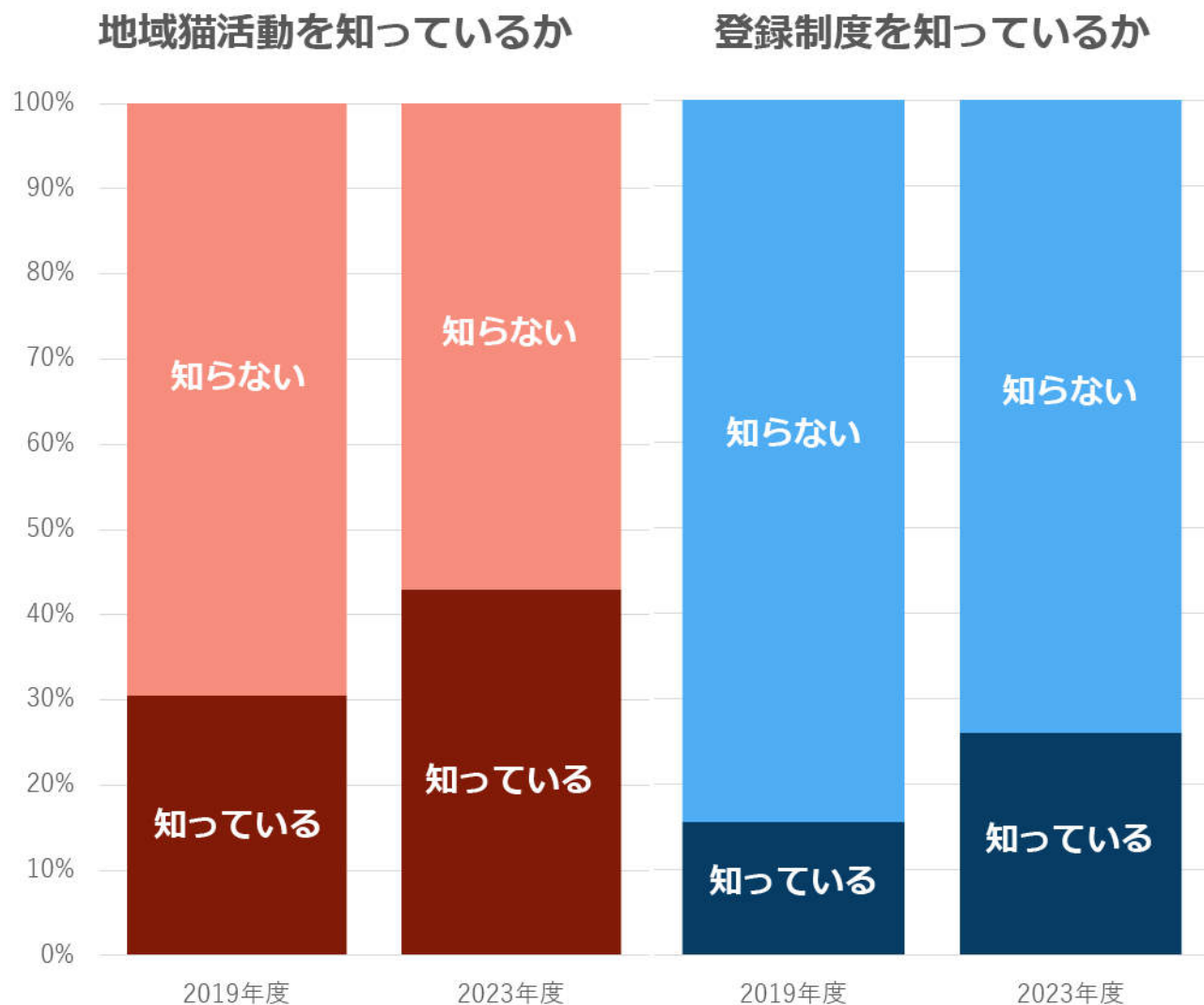
以前（概ね5年前）と比べた野良猫の数についても同様の結果が出ており、地域の猫が全体的に減少傾向にあることが分かる。

野良猫に関して自治会に寄せられる相談



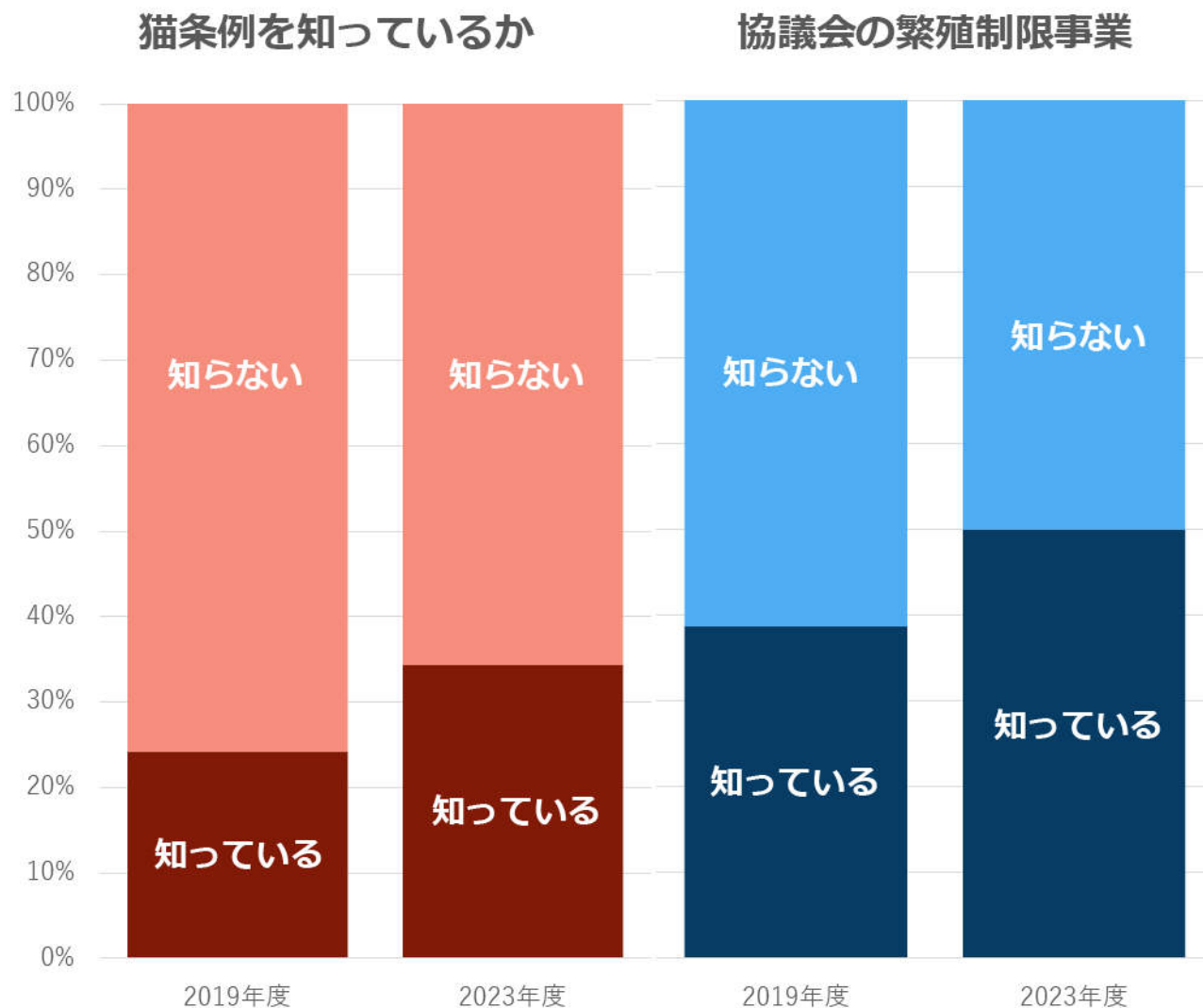
野良猫の相談自体が無い自治会が8割を超えており、前回調査に比べても、野良猫の相談数自体が減少していることが分かる。一方、以前（概ね5年前）と比較した場合については、前回調査時と大きく変化は無く、同じ傾向が続いているようであった。

地域猫活動に関する認知度



地域猫活動・団体登録制度の両方の認知度が上がっていることが分かった。
ただ、地域猫活動自体の認知度に比べて団体登録制度の認知度が低く、登録制度のさらなる周知が必要と言える。

「人と猫との共生に関する条例」の認知度



猫条例も協議会の繁殖制限事業の両方の認知度が上がっていることが分かった。

また、グラフには示していないが、前回調査の選択肢に、「猫条例の内容まで知っているか」、「協議会に繁殖制限を申請したことがあるか」を加え、より詳しく実情を調査した。

その結果、猫条例の内容まで知っている割合、繁殖制限事業を使ったことがある割合ともに5%前後であった。

令和 6 年度 第 1 回定例会議出席者名簿

神戸市人と猫との共生推進協議会

敬称略

所属	職名	氏名
公益社団法人 神戸市獣医師会	会長	中島 克元
	副会長	岸本 英一
	事業担当委員	橋本 裕規
特定非営利活動法人 神戸猫ネット	理事長	杉野 千恵子
	事務局長	下村 美鈴
公益社団法人 日本動物福祉協会	顧問	山口 千津子
公益社団法人 Knots	理事長	富永 佳与子
	事務局次長	鈴木 豊彦
株式会社 フェリシモ	生活雑貨事業部猫部G／キャラクターG 上席係長	小木 のり子
ネスレ日本 株式会社	ネスレ ピュリナ ペットケアマーケティング統括部	太期 由美子
神戸市自治会連絡協議会	副会長	新渡戸 素
神戸市商店街連合会	専務理事兼事務局長	村上 安弘
株式会社 神戸新聞社	報道部 デスク 論説委員	木村 信行
特定非営利活動法人 どうぶつ弁護士団	理事長	細川 敦史

欠席

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 神戸支店
一般社団法人神戸市婦人団体協議会

規約第 5 条第 4 項に基づく出席者

神戸市健康局	生活衛生担当部長	丸尾 登
	環境衛生課長	木村 知紀
	動物管理センター担当課長	玉嵯 一彦
	環境衛生課動物衛生担当係長	梅木 章成
	環境衛生課動物衛生担当係長	今田 吉隆